

◎社会情勢について

- 人口減少社会、公共施設の再編、北陸新幹線開業後の状況など、現状を踏まえるべきでは
- ・高度成長期ならまだしも、人口が減少する中で整備効果に疑問がある。また、人口の増加は考えないのか。
 - ・市庁舎など多くの老朽施設の改修など事業の優先順位についてどう考えるのか。
 - ・JR時代の古い計画なので、新幹線駅との繋がりも見極めながら進めるべき。まずは新黒部駅までの利用者調査実施を。
 - ・宇奈月温泉への鉄道ダイヤについて、帰りは良い時間帯が無く不便な現状なので、ダイヤ改正等のソフト整備も忘れないで欲しい。
 - ・公共交通利用者は増加傾向にあり、バス・タクシー利用者も視野に入れながら公共交通の充実について総合的に考えて欲しい。
 - ・観光客が日曜日の昼食に魚を食べたくても駅周辺飲食店街が休みの現状をまずは改善するべきではないか。

◎両駅橋上化・自由通路・現地下道について

- 両駅橋上化+複合施設化や両広場と駅舎を繋ぐ自由通路整備に期待、現地下道は暗くて不便
- ・両駅舎を橋上化、複合施設にして図書館併設等の検討を。
 - ・駅舎に市庁舎を移転する事が賑わいを生む事に繋がるので、道路整備を後回しにしても、駅ビルに予算を集中させて施設をコンパクトに集約してはどうか。市役所機能は賃貸で十分。
 - ・両広場を自由に通行出来ない整備では意味が無い。自由通路がこの計画に含まれていない理由は何か。
 - ・現地下道は窓も無く暗いので、特に女性には利用しづらい。地上にもってこれないか。
 - ・現地下道について、企業や美術系大学と協働で、視覚的に楽しく通行できるような工夫をしてみてはどうか。

現 計 画

◎現在の事業計画について

全体計画が不明瞭な事、整備内容と費用対効果に疑問

- ・この計画は市長公約と整合するのか。
- ・1万人増の内訳はどのような人達か。
- ・乗換地として利用されている魚津駅・新魚津駅の乗換利便向上は必要である。
- ・鉄道駅舎を移設しても人が集まるとは思えない。市に必要な事業なのか。
- ・鉄道事業者の負担を市が肩代わりする必要性は。
- ・もっと大きな全体計画、ランドデザインに基づく事業なのか。
- ・事業完了後、街路樹の剪定等、維持管理費も予算立てしながら進めて欲しい。
- ・海岸部へ向かう観光客が迷子になっているので、案内看板の設置等にも配慮して欲しい。

◎広場計画について

駅西広場拡張の必要性に疑問

- ・駅西広場は広いので拡張しなくても問題ない。
- ・鉄道沿いの水路は流れが悪く維持管理が大変なので、整備時に改修して欲しい。
- ・駅西広場側のバス停留所等は雨風凌げるよう屋根付きの施設として欲しい。
- ・広場拡張よりも雨ざらしの鉄道プラットフォーム改善が先決ではないか。

◎都市計画道路について

2路線の整備よりも、ガード下（カーバイド上村木線）の将来形について関心が高い

- ・北鬼江こ線橋から駅西広場までの鉄道残地を道路整備する等の利活用も考えて欲しい。
- ・平成32年度までに着手する整備スケジュールには無理がある。

◎駅舎計画について

地鉄駅舎の移設だけではなく橋上複合駅舎や自由通路の整備に期待が高い

- ・年寄りが利用し易い駅整備をして欲しい。
- ・見晴らし良く景観が楽しめる新駅舎にして欲しい。
- ・両駅を跨線橋で繋ぎ、中途半端に両広場への出入り制限が加わると迷う人が出てくる。

◎事業費について

21億円の事業費に見合う事業効果に疑問

- ・21億円は市民にとって大きな負担である。
- ・市の財政負担が大きい。恩恵のある県にも負担を求めてみては。
- ・実現して欲しいが、予算の削減を。
- ・21億円は魚津市の年間予算の10%以上であり市民ニーズの低い事業を進める事に疑問がある。

◎駅西広場横の商業施設について

内容検討と誘致後のアクセス性など

- ・駅西広場横の商業施設の整備手法・運営主体の明確化と、整備時には地下通路接続を可能にして欲しい。
- ・駅西広場横の商業施設は、駅の上に計画する等、もう一工夫して注目を浴びるようなものにならないと失敗するのではないか。

◎駅東広場（駅前広場）について

環境改善を期待

- ・駅前広場は、バス・タクシーと一般車の動線が重なっており危険なので再整備して欲しい。
- ・駅前広場に隣接する建物のテナントに空きがあり、暗く感じるので配慮できないか。
- ・他施設の事例を参考に、観光案内所内容の拡充を図ってみては。
- ・新幹線開業で大打撃を受けた飲食店街のために駅前広場を拡張してはどうか。

◎都市計画道路について

カーバイド上村木線のガード下改良について関心が高い

- ・緊急車両も通行できないガード下の改良は地元地区の昔からの要望なので実現して欲しい。
- ・ガード下の改良が先決であり、駅西広場を広げバスターミナルを作るだけでは効果が薄いのではないか。
- ・ガード下は1車線の片側通行で、降雨時の通行止め等、非常に不便なので、駅整備と併せて早急な解決を望む。
- ・ガード下は、今のままだと観光バスも通れないので、通れるように改善する事が先決ではないか。
- ・ガード下の検討結果について、地区への説明時期はいつになるのか。
- ・カーバイド上村木線が改良されると、交通量が増え騒音が増大し危険にもなるので、現状維持を望む。



◎将来展望やその他事項について

魚津のまちづくりに関する構想等における駅整備事業の位置づけ等

- ・駅周辺整備単独では事業に反対の市民も多いと思われるので、全体計画における駅整備の位置づけを示して欲しい。
- ・魚津市全体で考えた整備を望む。総合的な街づくりを見据え今後の展望はどうなるのか。
- ・周辺の観光アクセスについて触れているが、現在は直接行けるルートが無い。観光を主として考えるなら、駅西広場から海岸沿いに繋がる道路を整備するべきでは。
- ・人を集めるためには、新幹線開業により不便となった大阪や新潟へのサンダーバード、名古屋へのしらさぎ等の復活が必要ではないか。
- ・市庁舎・ホテル・運送会社・鉄道事業者等、全部巻き込んで今後計画検討してはどうか。
- ・利便性よりも話題性をまず考えてみてはどうか。人を引きつける魅力があれば、不便でも賑わうのではないか。

その他、全体計画策定のための協議会設置、計画アイデア等

- ・プロジェクトチームや協議会等を立ち上げ、現状の問題点を分析し、施設整備だけではなくインバウンド等にも踏み込みながら計画を練っていけば良いと思う。
- ・事業の説明会を随時開催して欲しい。
- ・意見を計画に反映するのか。意見交換をしたという実績作りをしているだけなのではないか。
- ・交流人口を増やすには各地区が連携して街づくりを行う必要がある事と、賑わい創出に繋がる魅力ある企業誘致も必要ではないか。
- ・線路内の空きスペースに魚津の花などの群生地を設け、鉄道を見下ろしながら飲食を楽しめるような施設を計画しては。
- ・（都）カーバイド上村木線沿線の土地を利用して、駅から海岸沿いの観光施設を周遊できる乗り物を作り、賑わいを創出してはどうか。
- ・例えば、小学校統合により空いた耐震済の校舎を庁舎として利活用する等のアイデアを集めて欲しい。
- ・駅東側にある駐輪場が古くて汚いので、改修して綺麗に利用して貰える環境作りをして欲しい。
- ・8号バイパスから海まで通り抜ける道路を計画して欲しい。

※  は、主に個別の計画内容に関する意見を整理したもの
 は、主に計画の全体的な事に関する意見を整理したもの